

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大牧小】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題> 国語における「図や表と文章」、算数における「数量関係と図」など、2つ以上の事柄を関連付けることに苦手感をもっている。 <指導上の課題> 物事を関連付ける学習の基礎的・基本的な事項を丁寧に説明し、習熟につなげる時間が十分に確保されていない。	⇒ 学校課題研修を通して「一斉授業」と「個別最適学習」を意図的に配置した単元構成の研究をする。単元内で「一斉授業」の時間を効果的に配置し、基礎的・基本的事項の確実な定着を図る。【学びの指標アンケート質問⑧「先生が、基本的な内容をわかりやすくしていないに説明してくれる」3.5ポイント以上※昨年度末3.4ポイント】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 教師の指示による学習を淡々と進め、自ら思考したり判断したりせずに表現している児童が多い。 <指導上の課題> 学習の方法を児童に任せたり選ばせたりする授業が十分にできていない。	⇒ 学校課題研修を通して「自己調整学習」や「個別最適学習」について研究を進め、授業改善を行う。学年ごとに構成されたメンター・メンティーグループごとに単元開発を行い、課題を解決する方法を児童が自ら選択したり決定したりするような授業実践を積極的に行う。【学びの指標アンケート質問①「授業で解決することを、自分で決めている」3.2ポイント以上※昨年度末3.0ポイント】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- 調査結果分析(7~8月)
- ①結果分析(管理職・学年主任等)
 - ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)